

# ピンクウィン (73-816RZ)

黄化葉巻病耐病性大玉トマト品種 長期栽培で高収量、玉揃い・玉伸び抜群



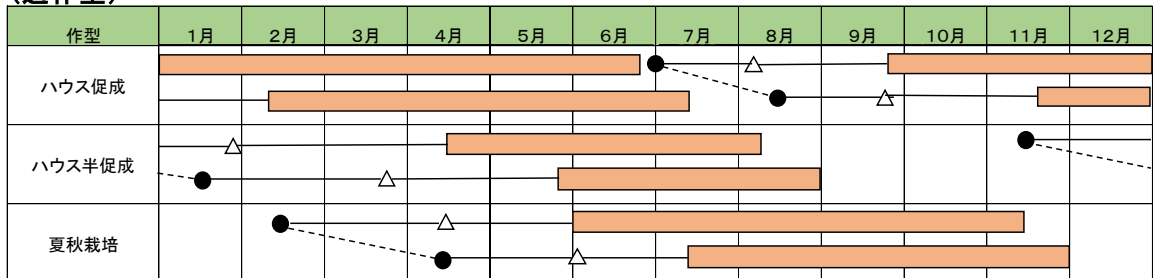
## 品種特性

- ・ライク・ズワーン社が開発した長期栽培向きピンク系大玉トマト品種
- ・半促成、夏秋栽培への適応性も高い。
- ・草勢が強く安定していて、淡々と着果して行く。
- ・低温寡日照条件下においても、比較的着果負担に耐える。
- ・高軒高ハウスでのハイワイヤー栽培（養液栽培）にも適応性が高い。
- ・初期から果実肥大が良く、豊円形の果形となり、果重は220g前後となる。
- ・甘味と酸味のバランスが良く食味良好
- ・花房内の果実揃いに優れていて、異常果の発生が少なく、秀品率が高い。
- ・果肉は硬く、棚持ち性に優れている。
- ・グリーンベースが薄いため、黄変果の発生が少なく、美しい果色となる。
- ・病害抵抗性はトマトザイクウイルス(Tm-2a)、葉カビ病 (Cf-9)、萎凋病レース1,2、根腐れ萎凋病、半身萎凋病レース1
- ・病虫害耐性は黄化葉巻病 (イス11系、マイルド系)、初アセンチュア

## 栽培のポイント

- ・幅広い病虫害抵抗性・耐性を持つ品種ですが、斑点病の耐病性が入っていません。湿気のもりやすいハウスでの土耕栽培では、斑点病の防除を徹底して下さい。
- ・草勢の強い品種ですが、草勢が強くなりすぎても異常茎、異常果の発生が少ない。
- ・草勢が強くなり過ぎた場合は、摘葉等で草勢をコントロールして下さい。
- ・高温期の着果肥大は良好で、黄変果、裂果、軟果の発生が少ない品種ではありますが、盛夏期の栽培では、遮光をすることで、品質の向上に繋がります。

## (適作型)



● : 播種期 △ : 定植期 〇 : 収穫期